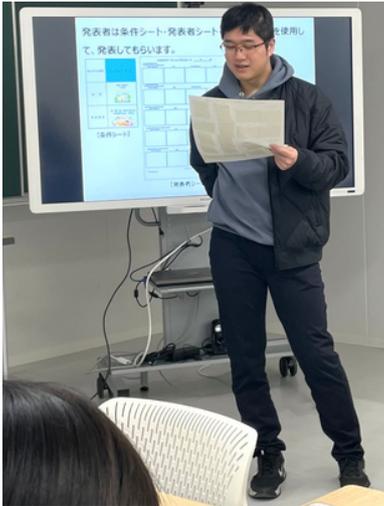


第6号を発行しました！このニュースレターでは、主として学部生の皆さんにむけて鹿児島大学教職大学院のニュースや魅力を隔月でお伝えしています。

学部卒学生の探究テーマの紹介：成果報告書のタイトル



成果報告書は各人で書き上げますが、途中段階では、学生同士で発表・討議しながら内容を深めていきます [写真は授業風景]



教職大学院では修士論文の代わりに、学生自身が長期の実習を通じて取り組んだ実践研究を『研究成果報告書』として提出します。その具体例として、学部卒学生の探究テーマを以下に紹介します（令和6年度修士の一部）。ご覧のとおり、さまざまな教科や校種が取りあげられています。

- 児童の道徳的判断力を育てる道徳科授業づくりを目指して
— 自問自答型モデルと判断規準型モデルの実践を通して—
- 「分かる」「できる」を目指した算数科授業デザイン
— 「1けたでわるわり算」と「小数」の場合—
- 論理的思考力を育成する中学校国語科の授業デザイン
— 協働学習の視点を活かした思考ツールを活用して—
- 歴史的思考力を発揮させることをめざした社会科授業
- 中学生段階におけるまとまりのある文章を英語で書く力の育成
— 結束性と一貫性に焦点を当てて—
- 化学的な知識と事物・現象の関連を目指した高等学校化学の授業構成
- 運動の特性や魅力を実感することのできる授業デザイン— ゲーム改善を通して—
- 児童が造形的な視点を豊かにする図画工作科の授業づくり
- 製品の解像度を高める中学校技術科の授業デザインとその評価に関する研究
- 実生活に生かすことを目的とした家庭科の授業デザイン
— 場面設定と視点提供を取り入れた授業実践—



修了生からのメッセージ

学部時代にはコロナ禍により実習の機会が少なかったこともあり、「このまま学校現場に出て大丈夫なのだろうか」という不安な気持ちがありました。教科指導、学級経営、生徒指導、特別支援教育等についても深く知り、実践力を身につけたいという思いから、教職大学院に進学しました。

教職大学院では、各分野のスペシャリストである先生方が、専門的な内容を丁寧に指導して下さいます。また、実習の機会が多く、様々な考え方を学ぶこともできます。さらに現職教員学生から、普通の生徒との関わり方、授業の仕方についても教えていただくことができるため、学部時代より一層、**学校現場に近い環境で学びを深めることができます。**

教職大学院に興味がある人、もっと深く学びたい人、教師になることに不安な気持ちがある人、ぜひ教職大学院で学んでみませんか。

[元 学部卒学生（女性；現 高校教諭）]



オンライン進学説明会

例年、進学説明会を5月・7月・9月・11月・1月に1回ずつ、夕方に実施しています。各回の前半は全体説明、後半は少人数での個別相談の時間としています（※途中退出可能）。

教職大学院への進学を目指す大学4年生はもちろん、進路のひとつとして関心をもっている大学1年生から3年生の方、社会人の方など、どなたでも参加できます。オンラインですので、ご自宅等からお気軽にご参加ください。具体的な日時等の詳細は、左側の入試案内サイトをご覧ください。

奨学金の返還免除制度を知っていますか？

一定の条件の下、奨学金の返還免除制度を利用することが出来ます。詳しくは日本学生支援機構のウェブサイト（右側の2次元コード）をご覧ください。



鹿児島大学大学院教育学研究科

[募集要項等についてのお問い合わせ先] 教育学部教務係

☎099-285-7713 🌐edukyomu@kuas.kagoshima-u.ac.jp

📍〒890-0065 鹿児島市郡元1丁目20-6

入試案内サイト

